

若者を戦場におくるな！「戦争」語り部セミナー①

「武蔵野への模擬原爆投下で女性 3 人が殺された・・・」

安倍「日本会議」政権による「海外で戦争できる国づくり」が本格化し、戦後 70 年談話ではアジアへの侵略・植民地支配の反省は薄まり、「積極的平和主義の盛り込みが企図されているそうです。加えて安倍政権は沖縄の「オール沖縄」で当選した翁長新知事の会談要請を拒否しただけでなく、すでに決定していた「沖縄振興」予算の大幅減額を検討しているといえます。さらに新年度予算では「社会福祉減額・軍事費大幅増額」・・・。NHKはじめマスコミ報道はこうした日本の現状に対するシャープな分析をしていません。まさに軍国主義復活のキザシが強まっているといえます。

練馬・文化の会では、改めて「戦争とは何か」の原点を見つめなおそうと、「若者を戦場に送るな！」をテーマに 1 年かけて連続「戦争」語り部企画に取り組みます。第 1 弾は「武蔵野にも戦争があった」の上映とトークを企画しました。是非若い人たちにも広く呼びかけてご参加くださるようお願いいたします。

練馬文化の会・立教大学共同制作 「武蔵野にも戦争があった」（15 分）上映

語り部 秋山 昌文（武蔵野の空襲と戦争遺跡を記録する会）

西田 昭司（「じゃがいも畑にパンプキン」執筆一裏面 / 元都教組練馬支部書記長）

日 時 2 月 8 日（日）午後 2 時～ 5 時

会 場 ココネリ 3 階研修室第 1

参加費：500 円

連絡先 練馬・文化の会 森田彦一 自宅（3951）4276 携帯 090-2520-9903